

試合番号 : 348	試合会場 : 福岡市民体育館	観客数 : 700		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:17	試合時間 : 02:17		
主審 : 山本 晋五	副審 : 小野 将人			
久光スプリングス	通算 5勝 5敗 ポイント : 17	25 第1セット 27	岡山シーガルズ	通算 6勝 3敗 ポイント : 17
監督コメント 粘り強い守備が武器の岡山シーガルズとの一戦にあたり、相手に流されず、安定したサーブからミドルブロッカーを中心に、多彩な攻撃を仕掛けたことは良かったが、試合を決める1点を決め切ることができず、相手に流れを渡してしまったことが敗因だった。福岡でのホームゲームで、スポンサーの方々やサポーターの皆様にも多大なるご協力をいただき感謝いたします。皆様と勝利を分かち合うために、切り返して明日の準備をしたい。本日はありがとうございました。	2	25 第2セット 20	3	監督コメント スタートでは外れていた宮下、新人の古川、船田らの強気のプレーが、少ないチャンスをものにできた最大の要因だった。特に第4セットに粘りながら競り勝ったことが、これからのシーガルズバレーの方向性を見出しにくれているように思う。来週のホームゲームに向け更に頑張っていきたい。本日は応援ありがとうございました。
		25 第3セット 18		
		22 第4セット 25		
		8 第5セット 15		
要約レポート ホームゲームで勝利して連勝を伸ばし、上位に食い込みたい6位の久光スプリングスと、同じく連勝を伸ばしたい6位の岡山シーガルズの一戦。アキンラデウオの攻撃による久光の得点を算を閉じた第1セット、井上(美)が相手ミドルブロッカーにサーブを集めて岡山の攻撃のリズムを崩し、井上(愛)、中川、岩坂による6連続得点で、久光がリードを広げる。中盤、岡山は古岡、及川による連続得点で追いつき、デュースとなったセット終盤、金田の巧みな2連続ブロックアウトで岡山がセットを先取した。第2セット、中盤まで一進一退の攻防が続いたが、終盤にアキンラデウオにボールを集めて一気に得点を重ねた久光が、セットを奪い返し、続く第3セットも攻撃のリズムを掴んだ久光が、アキンラデウオのブロック攻撃を中心に、井上(愛)、中川、石井の攻撃を織り交ぜ、終始リードを保ちセットを連取した。第4セット、このまま久光が逃げ切るかと思われたが、ディフェンスで粘りを見せる岡山が長いラリーを競り勝つ場面が徐々に増え、終盤、久光のミス誘ってセットを奪い返し、決着は最終セットまでもつれ込んだ。第5セット、開始直後に及川、渡邊、古川による4連続得点で一気にリードした岡金は、粘る久光に挽回の機会を与えることなく、金田、古川が着実に得点を重ねてこのセットを取り、フルセットで勝利した。終始、粘りのバレーを展開した岡金が、貴重な1勝をものにした。				

試合番号 : 349	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 751		
開始時間 : 13:05	終了時間 : 14:22	試合時間 : 01:17		
主審 : 富田 博一	副審 : 北村 友香			
ヴィクトリーナ姫路	通算 1勝 7敗 ポイント : 3	16 第1セット 25	東レアローズ	通算 8勝 0敗 ポイント : 22
監督コメント ホームゲームへのたくさんのご来場、ありがとうございました。ここまで全勝で首位を走る東し相手に自分たちの良さを出しつつ、相手の良さを消す戦いができるとは思いましたが、アタックはもろんサーブ、パス、セット、全てにおいて完敗でした。ホームゲームをサポートいただいた全ての皆様に申し訳ない気持ちでいっぱいです。明日のホームゲームで、我々の存在価値を高める試合をお見せできるようにしたいと思います。明日も応援よろしく願います。	0	14 第2セット 25	3	監督コメント 今日の試合に向けて、相手の粘り強いバレーに負けないようにオフェンス面、ディフェンス面をしっかりと確認して準備してきました。途中苦しい場面もありましたが、サイドアタッカーを中心に得点を重ね、ディフェンス面も機能させて勝利を掴むことができました。また、明日の試合に向けてしっかりと準備をしたいと思います。本日はたくさん応援をいただきありがとうございました。
		15 第3セット 25		
要約レポート ヴィクトリーナ姫路がホームに東レアローズを迎えた一戦。第1セット、序盤から姫路は荒谷のスパイク、リベロの花井の好レシーブでリズムを作ろうとするが、東しはクラン、石川のスパイクで流れを掴み、姫路を突き放す。姫路は真色のスパイク、長野のブロックで流れを戻そうとするが、勢いを止めることができず、東しがセットを先取した。第2セット、東しは小川、クランのスパイクで主導権を握る。姫路はメンバーチェンジで流れを変えようとしたが、東しの勢いは止まらず、最後は大野のブロック、クランのスパイクでセットを連取した。第3セット、後がなくなった姫路は金彩のスパイクで追い上げるが、東しはセッター関の的を絞らせないトスで姫路のブロッカー陣を翻弄する。姫路はメンバーチェンジで流れを引き寄せようとするが、東しは石川がスパイクを決めて粘る姫路を突き放し、ストレートで勝利し全勝を守った。				

試合番号 : 350	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 376		
開始時間 : 16:00	終了時間 : 17:24	試合時間 : 01:24		
主審 : 内藤 聡美	副審 : 千代延 靖夫			
トヨタ車体クインシーズ	通算 2勝 6敗 ポイント : 7	16 第1セット 25	KUROBEアクアフェアリーズ	通算 3勝 5敗 ポイント : 7
監督コメント 相手のパスを乱してもその後スパイクを決められてしまうことが多く、レシーブが乱れた後の判断が得点につながらず、安定した試合運びができなかった。今日のKUROBEのサイドアタッカーの動きは素晴らしい。クインシーズはブロックを整え、ディフェンスを上げ、オフェンスを向上させて明日の試合を戦いたい。遠くからも応援ありがとうございました。応援してくださる方々の思いに応えられるよう、さらに精進してまいります。	0	22 第2セット 25	3	監督コメント 先週のホームゲームを1勝1敗で乗り切り、勢いをもって何としても勝利したいゲームでした。トヨタ車体クインシーズのスピードと変化のあるサーブとブロックに苦しめられ最後まで苦しい展開でした。しかし、リーを中心に攻撃を仕掛け、勝利することができました。レセプションの乱れを修正し、次のゲームに臨みたいと思います。今後ともご声援よろしく願います。
		23 第3セット 25		
要約レポート 第1セット、序盤はトヨタ車体クインシーズが8-3まで先行したが、KUROBEアクアフェアリーズは細沼の連続アタックで追いつき、リーの強烈なアタックも決まり、KUROBEがセットを先取した。第2セット、両チームのアタックが決まり終盤まで接戦となったが、19-19からKUROBEは杉原がサービスエースを決め、その後もサーブで相手のレシーブを乱し3連続得点。最後は間橋がアタックを決めてKUROBEがセットを連取する。第3セット、舩田、リー、杉原の攻撃が止まらず、22-15までKUROBEの流れとなる。トヨタ車体は数回の連続サービスエースなどで7連続得点をあげ追いつくも、最後はKUROBEリーがアタックを決め、KUROBEが接戦を制した。				

試合番号 : 351	試合会場 : E・プラザいしかわ	観客数 : 0		
開始時間 : 11:00	終了時間 : 12:56	試合時間 : 01:56		
主審 : 江下 毅	副審 : 服部 篤史			
デンソーエアリービーズ	通算 6勝 3敗 ポイント : 20	25 第1セット 18	日立リヴァーレ	通算 2勝 7敗 ポイント : 5
監督コメント リモートマッチという形で試合になりましたが、自分達で雰囲気を作って試合をすることができました。オフェンスでも、ディフェンスでも、エアリービーズらしさが出せました。来週はホームゲームになるので、良い準備をして臨みます。	3	23 第2セット 25	1	監督コメント 第1セットのスタートから崩れて苦しい展開となってしまいました。連敗が続いている中で、自分達で作りに上げるコート内の雰囲気や流れ、思い切りプレーすることを意識し、メンバーも変えていきましたが、敗戦となったことは残念です。勝つことで自信を持ち、勢いをつけたいのですが、なかなか勝ち切れず悔しく思います。要所での勝負強さを試合の中で出せるよう、来週の2戦は確実に勝利を掴みにいきたいです。
		26 第3セット 24		
		25 第4セット 21		
要約レポート デンソーエアリービーズと日立リヴァーレの対戦。第1セット、日立は上坂のアタック、小野寺のサービスエースで好スタートを切ったが、デンソーは工藤のアタック、ブロックで序盤でリードを奪う。中盤まで日立が長内のアタック、サービスエースでリードしたが、ミスが続くとデンソーに逆転を許し、最後は6連続得点でデンソーがセットを先取した。第2セット、終盤まで日立はタップの速攻、長内のアタックで、デンソーは中元、工藤のアタックで競り合う展開になったが、上坂のアタック、タップのブロックで突き放し、日立がセットを取り返した。第3セット、デンソーは中元、工藤のアタックで後半まで大きくリードする。その後、日立はタップの連続ポイントで追いつきデュースとなるが、アタックのミスが続き、デンソーがセットを奪った。第4セット、序盤からデンソーは中元、鍋谷のアタックで大きくリードしてゲームを進める。日立は野中、長内のアタック、上坂のサービスエースで追い上げを見せるが、デンソーがリードを保ったままセットを取り、勝利を収めた。				

試合番号 : 352		試合会場 : E・プラザいしかわ				観客数 : 0			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:14		試合時間 : 01:14		主審 : 原 啓之		副審 : 浅井 唯由	
PFUブルーキャッツ		通算	0 勝	8 敗	17	第1セット	25	JTマーヴェラス	
			ポイント : 1					通算	8 勝 1 敗
					10	第2セット	25	ポイント : 23	
監督コメント	<p>第1セットはタイトでハードなゲームができた。第2セットは序盤から自分達のやるべきことを見失い、ゲームを作ることができなかった。明日の試合では、立て直して頑張りたい。本日も応援、ありがとうございました。</p>				0		3	<p>初めてのリモートマッチのため、自分達でゲームのリズムを作り、攻守共に精度を上げていけるよう臨みました。第1セットは、サーブレシーブが安定せず我慢する時間があったが、サイドアタッカーの強弱をつけた攻撃で流れを掴めました。セットを重ねることにサイドアウトがスムーズになり、自分達で得点を取り、試合を通してブロックの精度が上がリ、相手にプレッシャーをかけることができました。リモートマッチでの難しい試合でしたが、画面越しで応援して下さいました。皆様にも少しでも感動していただけたのではないかと思います。本日はありがとうございました。</p>	
<p>要約レポート</p> <p>第1セット、序盤、JTマーヴェラスはドルーズを中心に攻めるが、PFUブルーキャッツもアコスタや村上のスパイクで応戦し互角の展開となる。中盤、JTは田中、林のスパイクで得点を重ねて徐々に点差を広げた。終盤、田中のサービスエースで流れを掴んだJTがセットを先取した。第2セット、JTは稲原のサーブでPFUのサーブレシーブを乱して連続ブレイクし、8-2と大きくリードしファーストテクニカルタイムアウトを迎えた。その後も流れは変わらず、芥川のスパイクやブロックでリードを広げたJTがセットを連取した。第3セット、2セット連取され後がないPFUはアコスタを中心に攻める。序盤はラリーの応酬となり、両チーム譲らない展開で試合が進む。このセットも中盤に流れを掴んだのはJT。PFUのサーブレシーブを乱し、堅い守備から林のスパイクなどでリードを広げた。PFUも終盤に連続得点するなど粘りを見せたが、JTが逃げきり、ストレートで勝利した。</p>									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝
			ポイント :	-					ポイント :
						第2セット			-
監督コメント							監督コメント		
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝
			ポイント :	-					ポイント :
						第2セット			-
監督コメント							監督コメント		
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝
			ポイント :	-					ポイント :
						第2セット			-
監督コメント							監督コメント		
要約レポート									